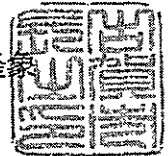


20古建 第857号

平成20年10月8日

国土交通省道路局長 殿

古賀市長中村隆豪



今後の道路行政についてのご意見・提案の提出について（回答）

平成20年10月3日付で貴局よりご依頼のありました事務連絡
につきましては下記のとおり回答致します。

記

別紙のとおり

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

福岡県古賀市

本市においては、幹線道路である国道495号、県道、都市計画街路等の整備が遅れており、交通渋滞等で住民生活に支障を来とし、さらには経済活性化にも大きな影響を及ぼしております。また既存集落の生活道路につきましても、狭小で未整備な道路があり、生活環境の向上を図るため、道路整備を積極的に進める必要がありますので、下記のとおり要望します。

記

- 1、高規格道路事業（事業費単価の高い）についての国庫補助率（現行55%）を上げること。
- 2、生活道路整備事業についても一定の基準の下に国庫補助事業として取り組めるよう補助基準の見直しを図ること。
- 3、スマートインターチェンジ事業を積極的に推進すること。

以上

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②—1 地域の現状と抱える課題

福岡県古賀市

○現状

国道495号、県道等の主要幹線道路網の整備が遅れております。

○課題

- 1、交通量の増加、交通渋滞等による市民の安全性や生活環境の悪化。
- 2、企業誘致の際、道路が未整備のために成立しないことが多い。

②－２ 地域を目指すべき将来像

福岡県古賀市

渋滞の緩和、利便性の向上、地域間の交流を図るため、広域幹線道路と地域内幹線道路の整備を進め、すべての人が安全かつ快適に暮らせるまちづくりを目指すため、下記の整備事業を進める。

記

- 1、東西、南北（国道、県道、市道）の幹線道路網の整備促進、交通渋滞解消
- 2、少子高齢化社会に対応して行くため、ユニバーサルデザインに配慮した道路整備
- 3、将来の都市計画を見据えた都市計画街路の整備

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④

福岡県古賀市

○重点事項 ・地域活力の向上	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
	1、スマートインターチェンジの設置 2、国道495号道路整備 3、主要地方道筑紫野古賀線道路整備 4、県道町川原赤間線道路整備 5、市道浜大塚線道路整備	1、優良企業の誘致 地域の利便性向上 2、交通渋滞の解消 歩行者の安全確保 3、交通渋滞の解消 交通事故の減少 生活環境の向上 4、交通渋滞の解消 交通事故の減少 安全な通学路の確保 5、交通渋滞の解消 生活環境の向上	
・安全対策の強化	6、市道栗原水上線道路整備 7、JR駅周辺の歩道整備 （交通バリアフリー整備事業）	6、地域間の交流向上 安全な通学の確保 7、高齢者、身体障害者の移動の利便性・安全性の向上 安全な通学路の確保	踏切の立体 交差化